

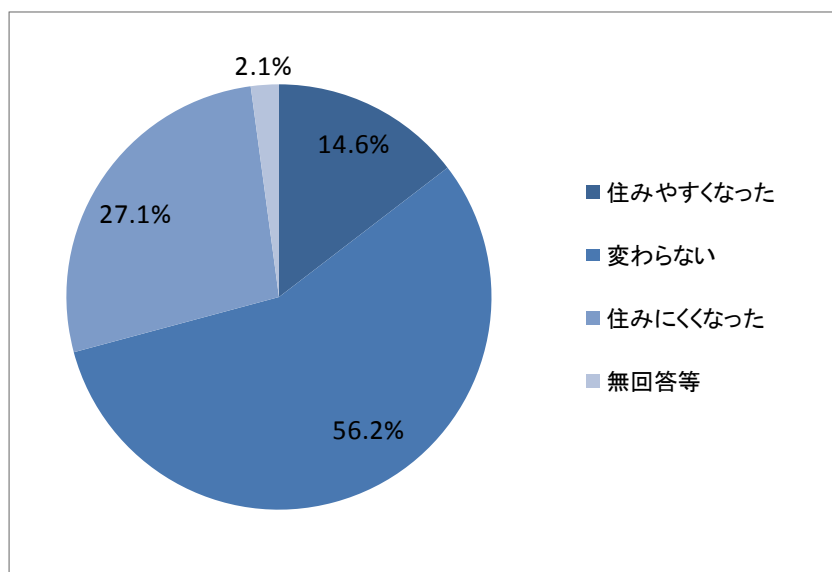
第5次羽咋市総合計画市民アンケート結果

対象者数:1,740名
調査時期:平成22年2月
回収数:1,082名
回収率:62.2%

【住みやすさについて】

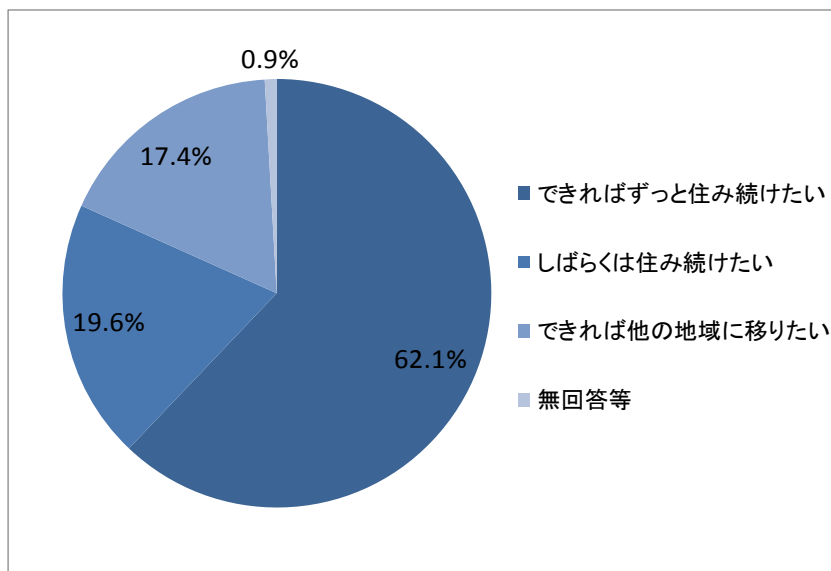
問1. 10年前と比べて住みやすくなりましたか

●約5割の回答者が、住みやすさは「変わらない」と回答しています。



問2. 将来も羽咋市に住み続けたいですか

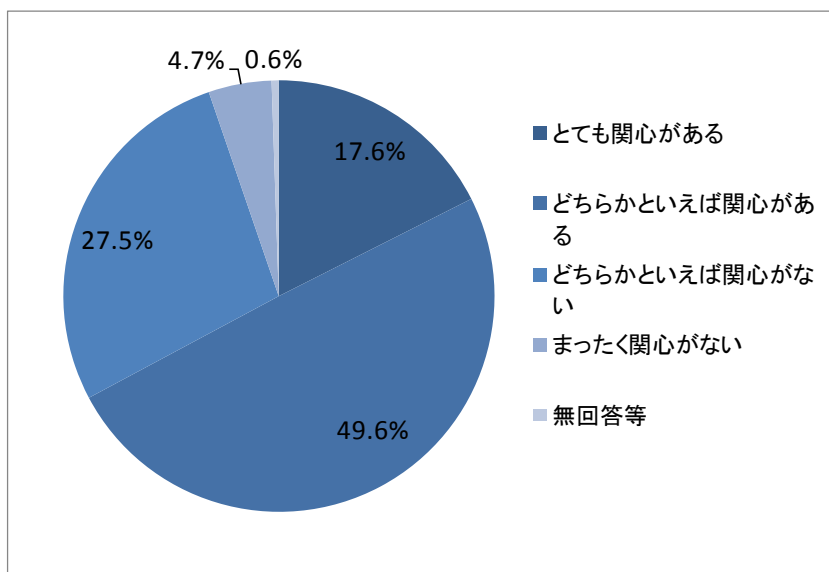
- 「できればずっと住み続けたい」と「しばらくは住み続けたい」を合わせて、8割以上の回答者が継続して羽咋市に住み続けたいと回答しています。



【行政への関心、参加について】

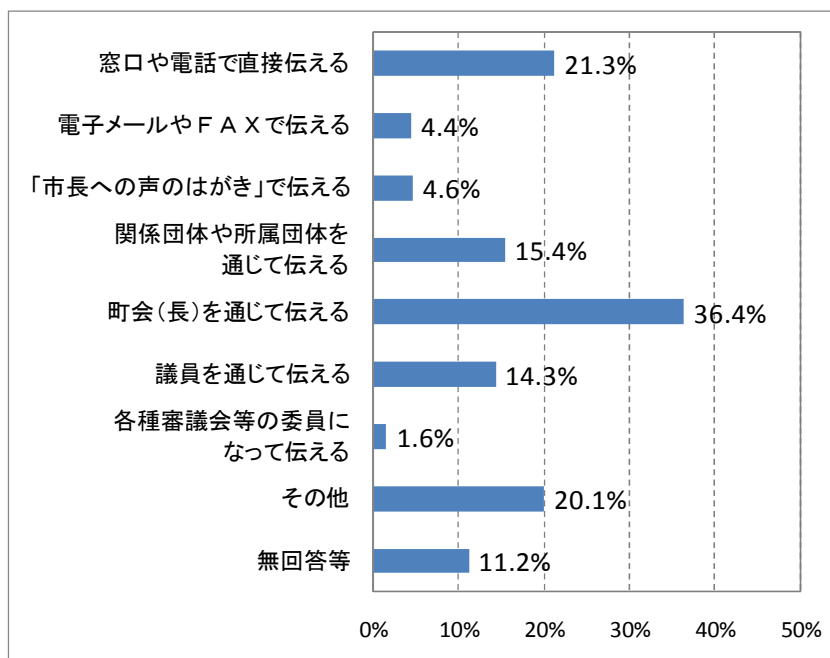
問3. 羽咋市の行政に関心がありますか

- 「とても関心がある」と「どちらかといえば関心がある」を合わせて、約7割の回答者が行政に関心があると回答しています。



問4. 市政へどのように参加していますか（複数回答）

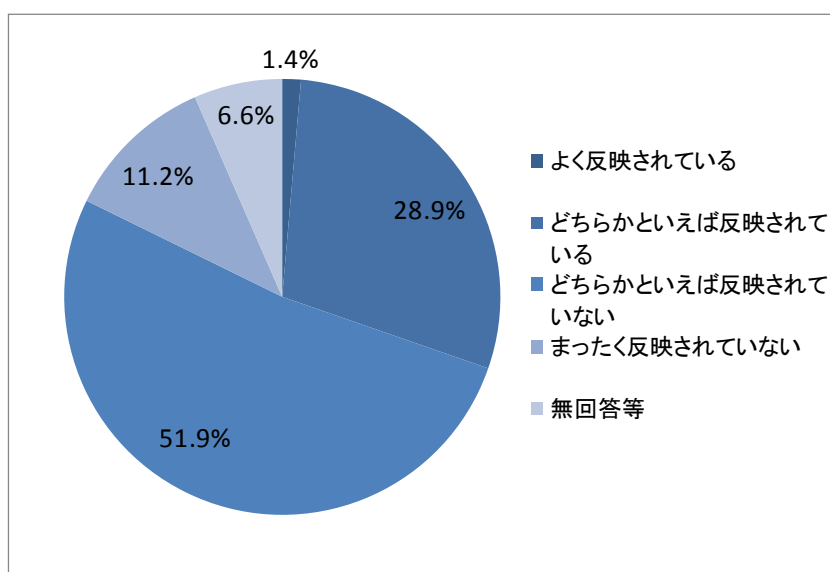
- 「町会（長）を通じて伝える」が約 3 割で最も多く、次いで「窓口や電話で直接伝える」が多くなっています。



その他：選挙、参加していない等

問 5. 行政へ意見・要望が反映されていると思いますか

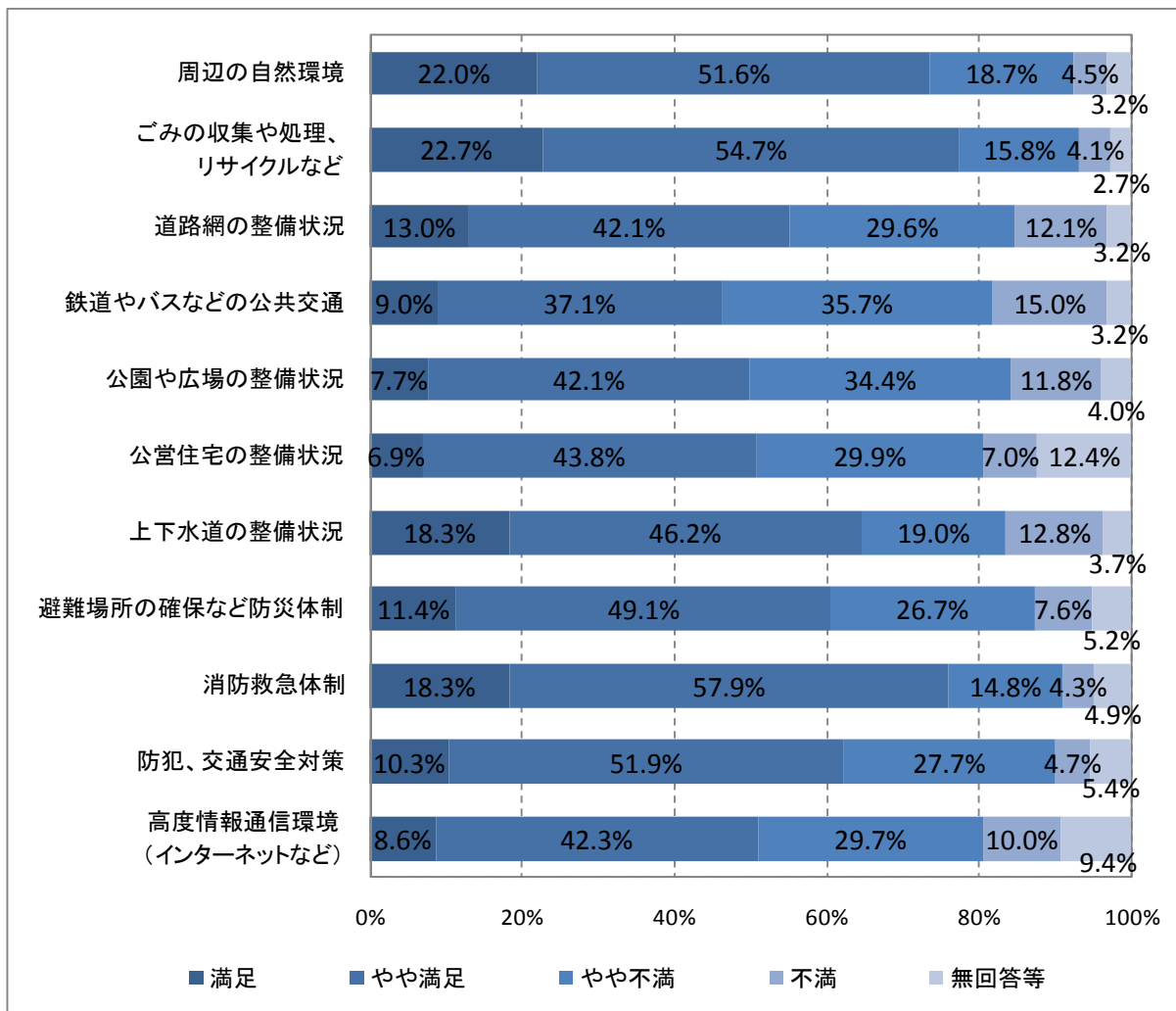
- 意見や要望の市政への反映について、約 5 割の回答者が「どちらかといえば反映されていない」と回答しています。



【日常生活の満足度について】

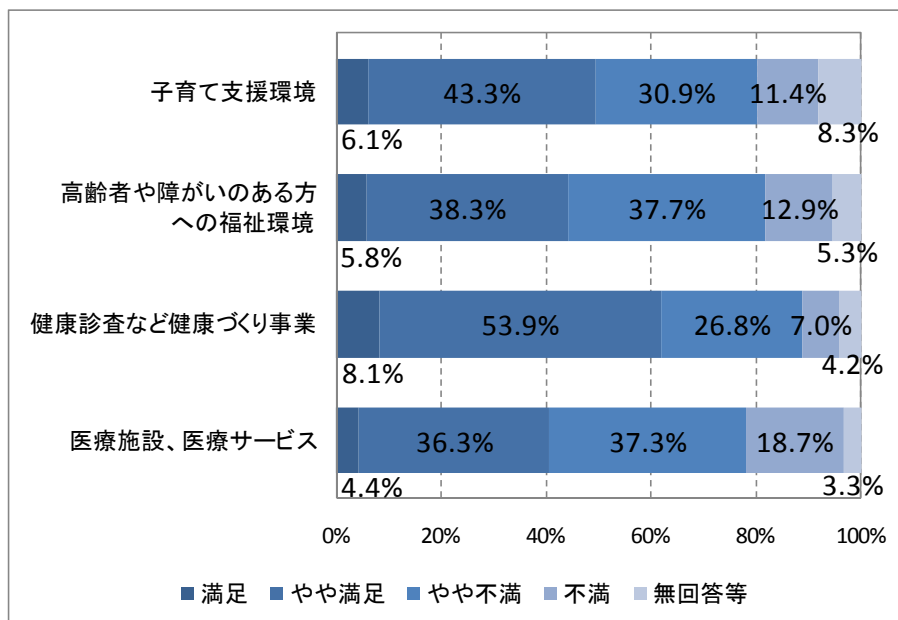
問6. 日常生活環境に満足していますか【生活環境】

- 11項目中9項目で「満足」と「やや満足」との回答が5割以上になっています。特に「周辺の自然環境」、「ごみの収集や処理、リサイクルなど」では「満足」という回答が多くなっています。



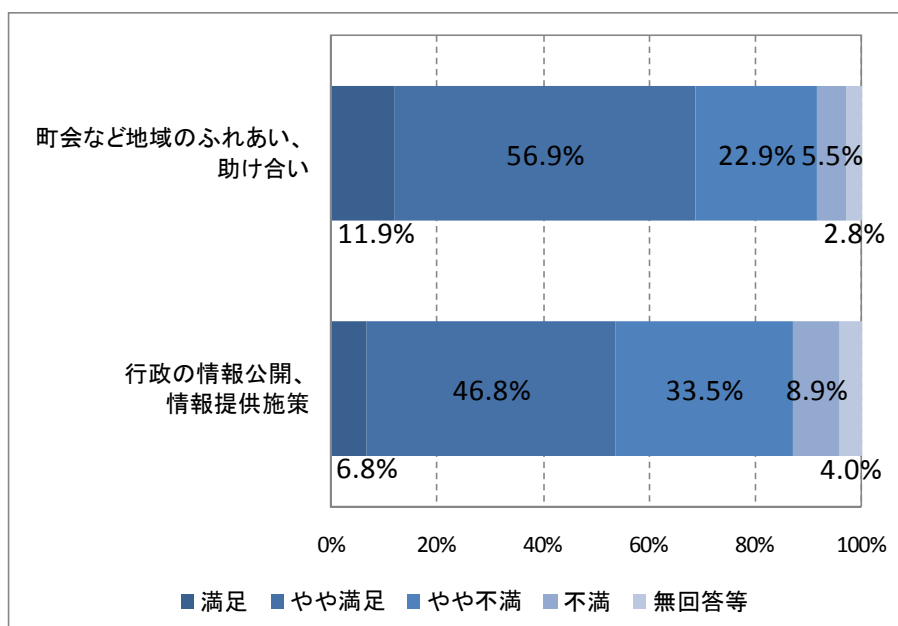
問6. 日常生活環境に満足していますか 【福祉、医療環境】

●「満足」と「やや満足」を合わせた回答が、「健康診査など健康づくり事業」で6割を超えています。その他の項目では5割に満たない状況となっています。



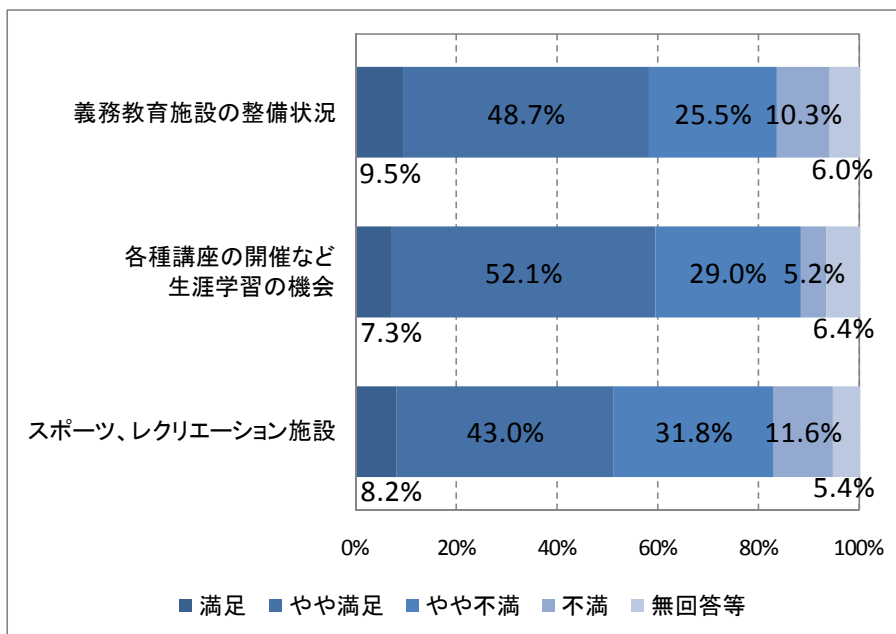
問6. 日常生活環境に満足していますか 【まちづくり環境】

●まちづくり環境については、5割以上の回答者が「満足」、「やや満足」と回答していますが、「行政の情報公開、情報提供施策」に関しては「やや不満」、「不満」という回答が4割を超えています。



問6. 日常生活環境に満足していますか【教育環境】

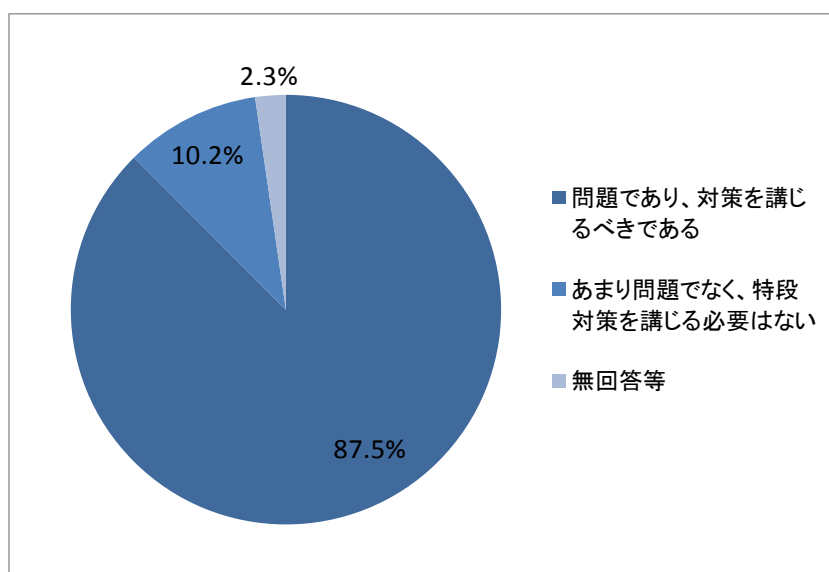
● 回答者の5割以上が、現在の教育環境に「満足」「やや満足」と回答しています。



【人口減少について】

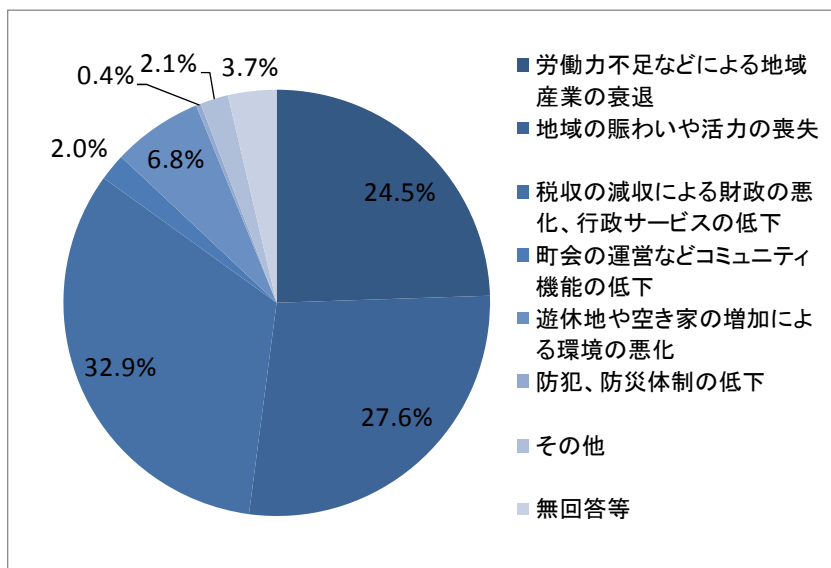
問7. 羽咋市の人口減少をどのように感じますか

● 約9割の回答者が人口減少に対し、問題意識を持ち、対策の必要性を感じています。



問 8. 人口減少が地域にどのような影響を与えると考えますか

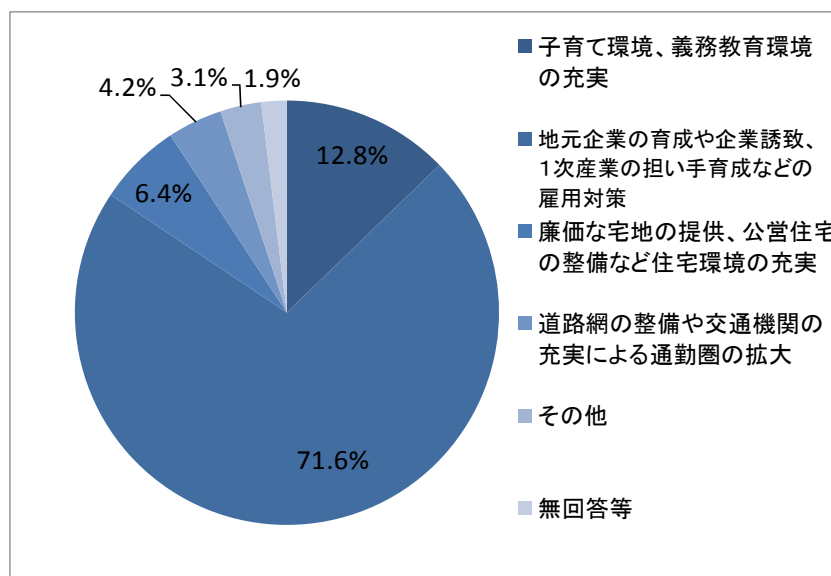
- 「税金の減収による財政の悪化、行政サービスの低下」や「地域のにぎわい喪失や活力の喪失」、「労働力不足による地域産業の衰退」といった回答が多くなっています。



その他:教育機関の減少、医療機関の縮小 等

問 9. 人口減少対策としてどのような施策が有効だと考えますか

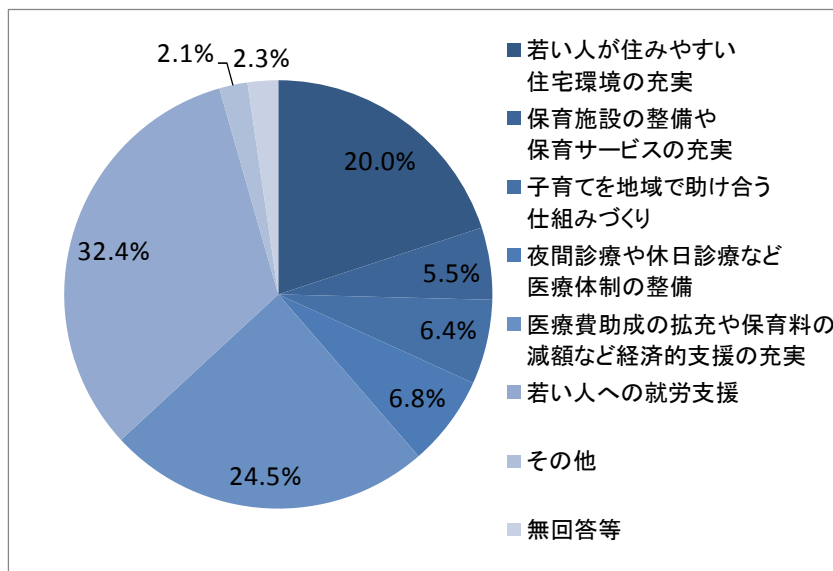
- 「地元企業の育成や企業誘致、1次産業の担い手育成などの雇用対策」という回答が7割以上を占めています。



【少子化対策、高齢者支援策について】

問 10. 少子化支援策としてどのような施策が有効だと考えますか

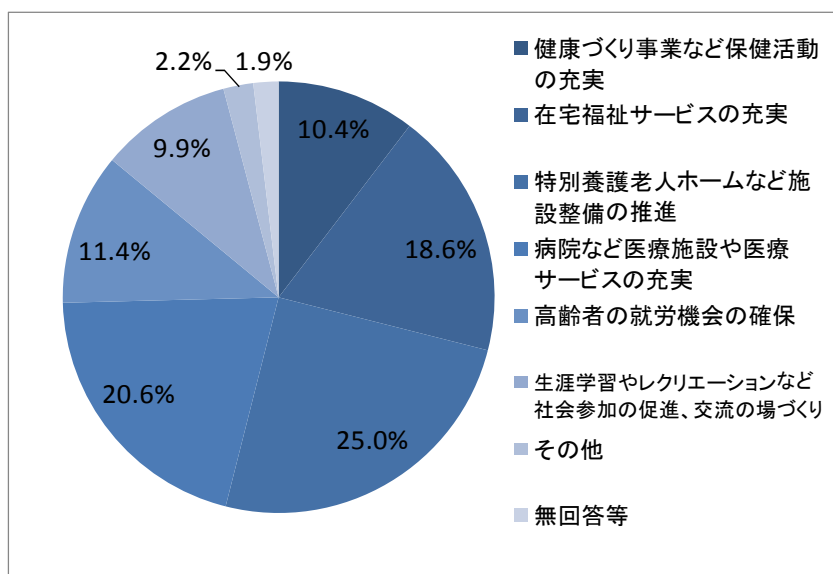
- 「若い人への就労支援」が最も多く、次いで「医療費助成の拡充や保育料の減額など経済的支援の充実」が多くなっています。



その他: 日曜日もみてくれる学童保育等の充実、保険料の引き下げ 等

問 11. 高齢者支援策としてどのような施策が有効だと考えますか

- 「特別養護老人ホームなど施設整備の推進」が最も多く、次いで「病院などの医療施設や医療サービスの充実」が多くなっています。

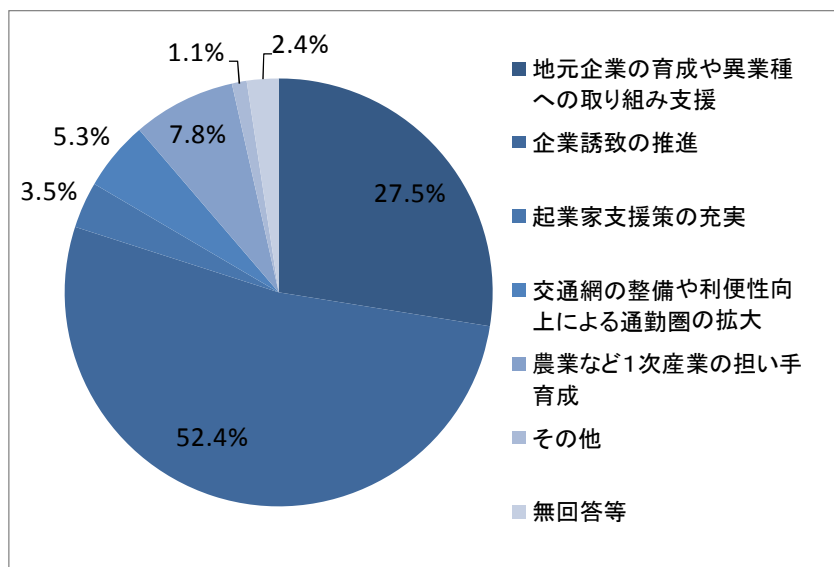


その他: 交通機関の充実、訪問対話サービスの充実 等

【雇用対策について】

問 12. 雇用支援策としてどのような施策が有効だと考えますか

- 「企業誘致の推進」が最も多く、次いで「地元企業の育成や異業種への取り組み支援」となっており、産業活性化による雇用対策を希望する回答が多くなっています。

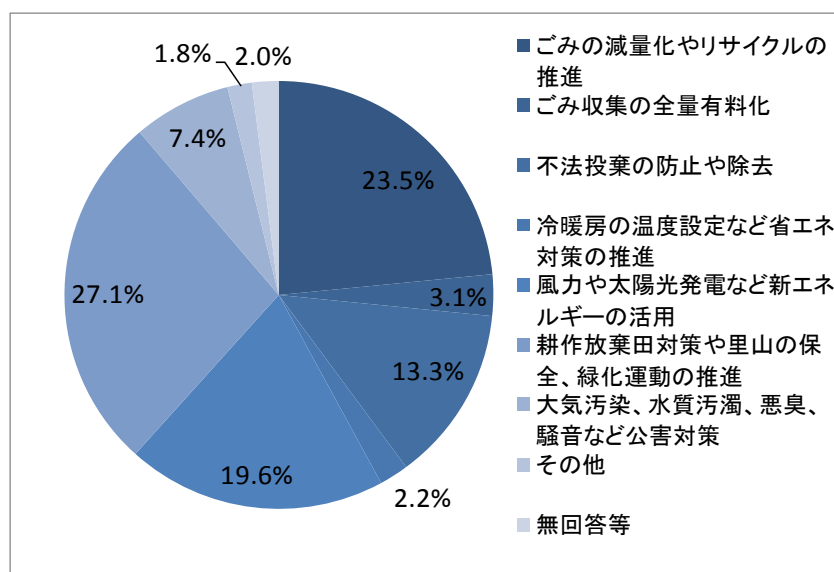


その他:能登有料道路の無料化、行政と市民が一体となって起業する 等

【環境保全、防災対策について】

問 13. 環境にやさしいまちづくりに必要な取組みをどのように考えますか

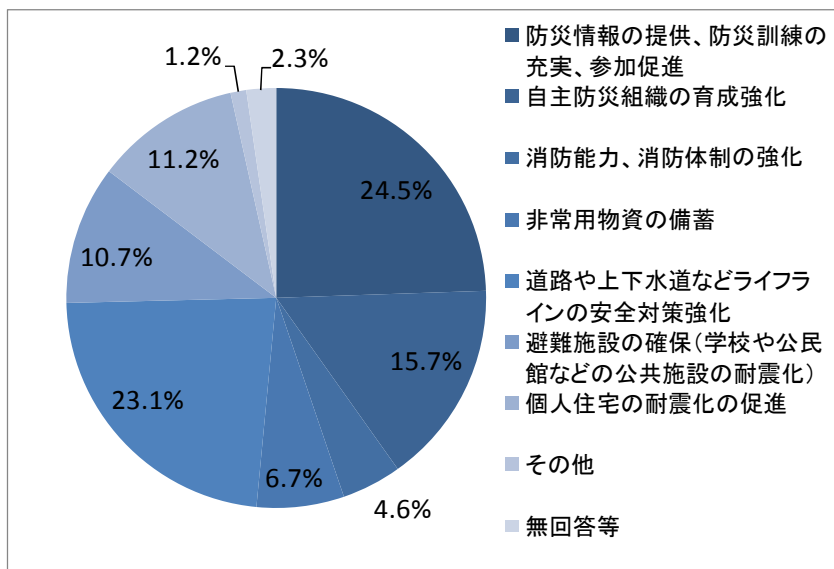
- 「耕作放棄田対策や里山の保全、緑化運動の推進」という意見が最も多く、次いで「ごみの減量化やリサイクルの推進」が多くなっています。



その他:河川の整備・清掃、植樹の推進 等

問 14. 災害に強いまちづくりに必要な取組みをどのように考えますか

- 「防災情報の提供、防災訓練の充実、参加促進」が最も多く、次いで「道路や上下水道などライフラインの安全対策強化」という回答が多くなっています。
- 「消防能力、消防体制の強化」や「非常用物資の備蓄」への意識は低くなっています。

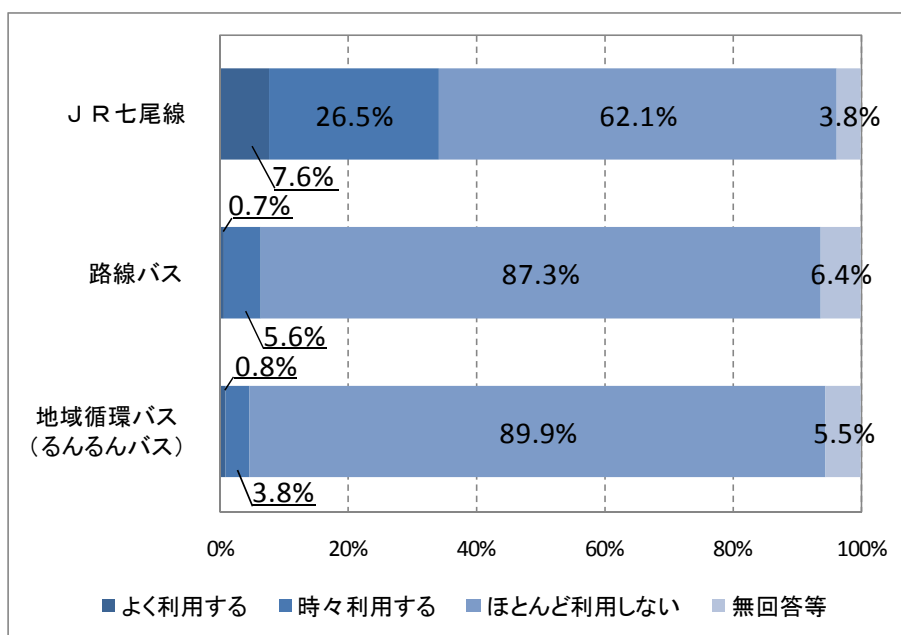


その他:ハザードマップの作成と全戸配布、災害時早急に対策指示できる人材の育成 等

【交通対策について】

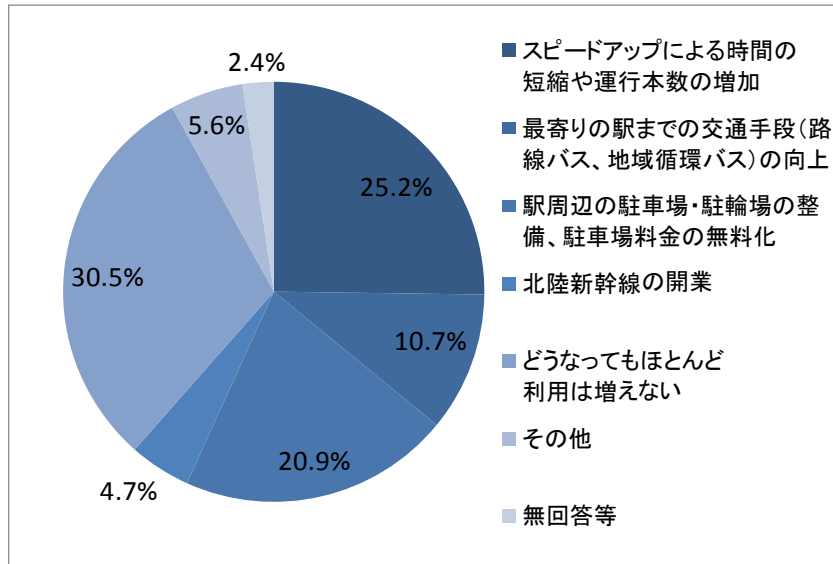
問 15. どの公共交通機関を利用しますか

- JR七尾線、路線バスと地域循環バス、すべての利用者が少なくなっています。



問 16. JR七尾線をもっと利用するためにどのようなことが必要ですか

- 「スピードアップによる時間の短縮や運行本数の増加」と「駅周辺の駐車場・駐輪場の整備、駐車場料金の無料化」が主な対策として望まれています。
- 約3割の回答者が、「どうなってもほとんど利用は増えない」と回答しています。

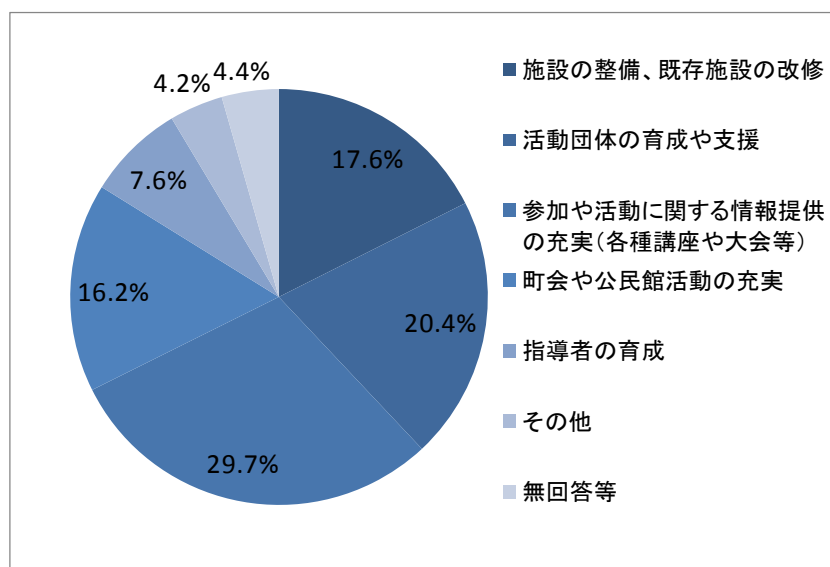


その他:羽咋駅周辺の活性化、低運賃化 等

【生涯学習について】

問 17. 生涯学習・レクリエーション活動の活性化にはどのような施策が有効だと考えますか

- 「参加や活動に関する情報提供の充実」をとという回答が最も多く、次いで「活動団体の育成や支援」を望む回答が多くなっています。

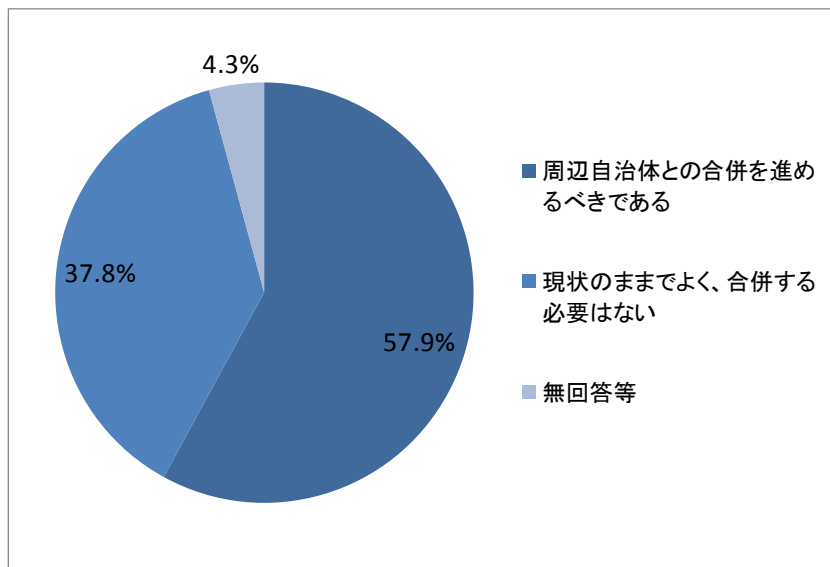


その他:施設の個人利用がしやすい環境づくり、仕事をしている人にも利用しやすい時間設定 等

【広域行政について】

問 18. 周辺自治体との合併をする場合にどのように考えますか

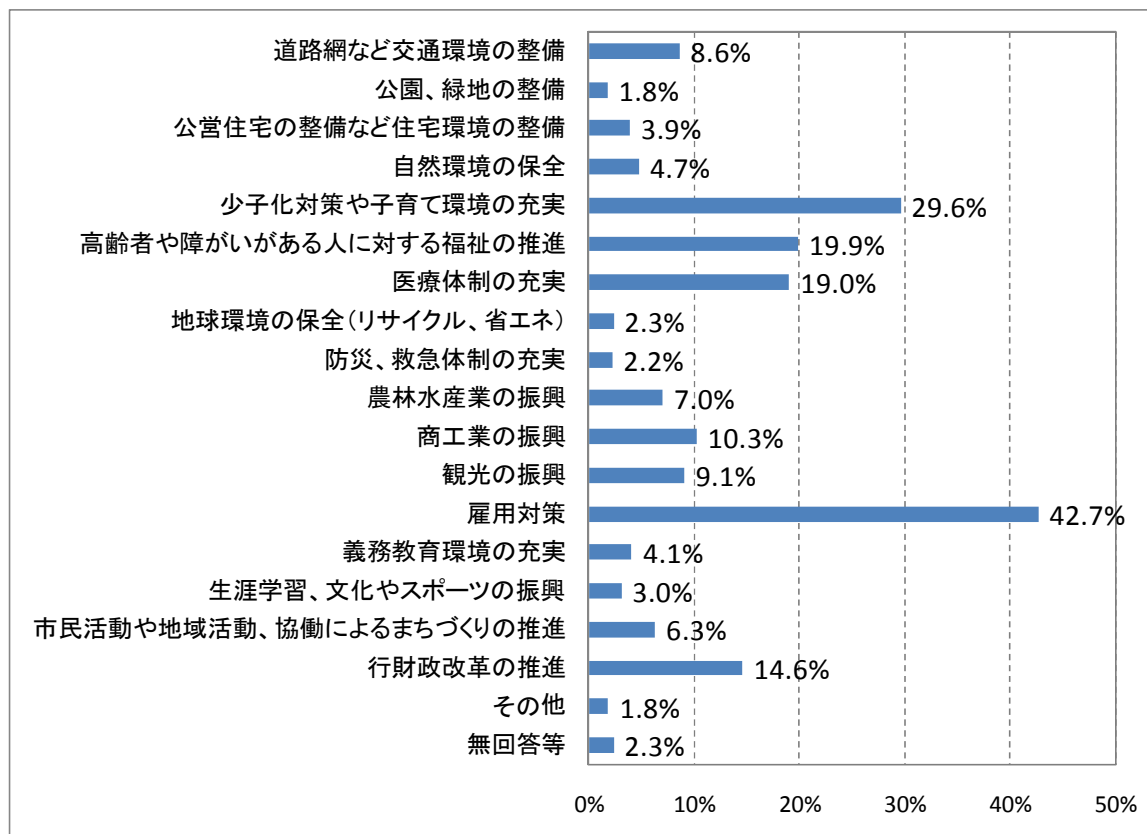
● 回答者の約6割が合併に賛成しています。



【将来の重点施策について】

問 19. 羽咋市が今後10年間で力を入れるべき分野をどのように考えますか（2つ回答）

● 「雇用対策」が最も多く、次いで「少子化対策や子育て環境の充実」という回答が多くなっています。

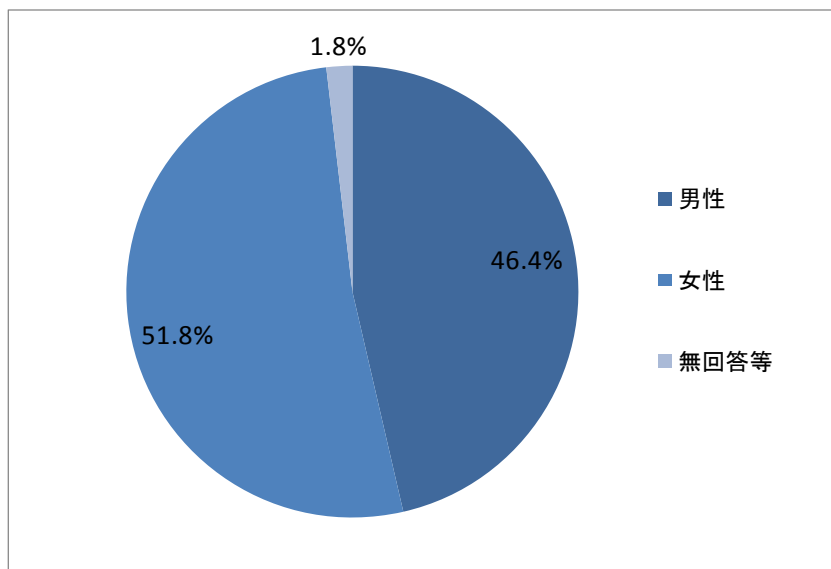


その他: 企業の誘致を積極的に推進、人件費の抑制 等

【回答者の属性】

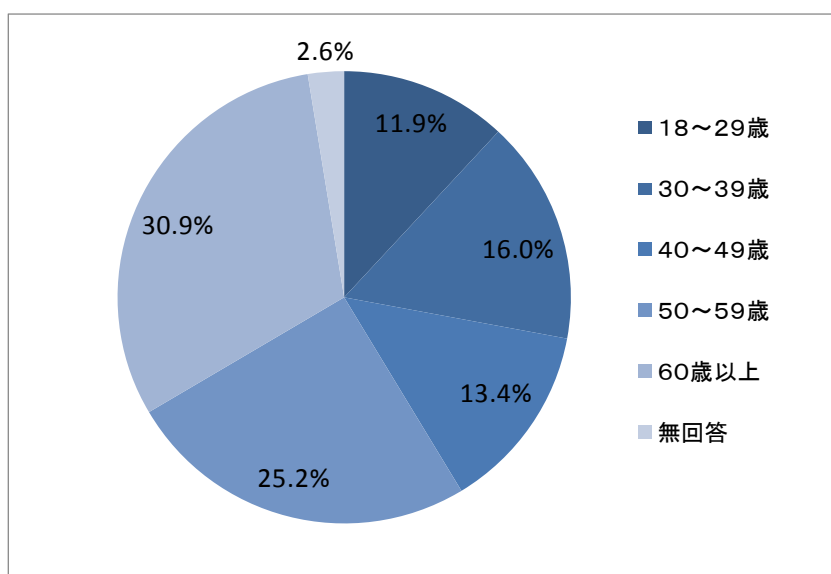
問20. 性別

- 「女性」の回答割合が高くなっています。



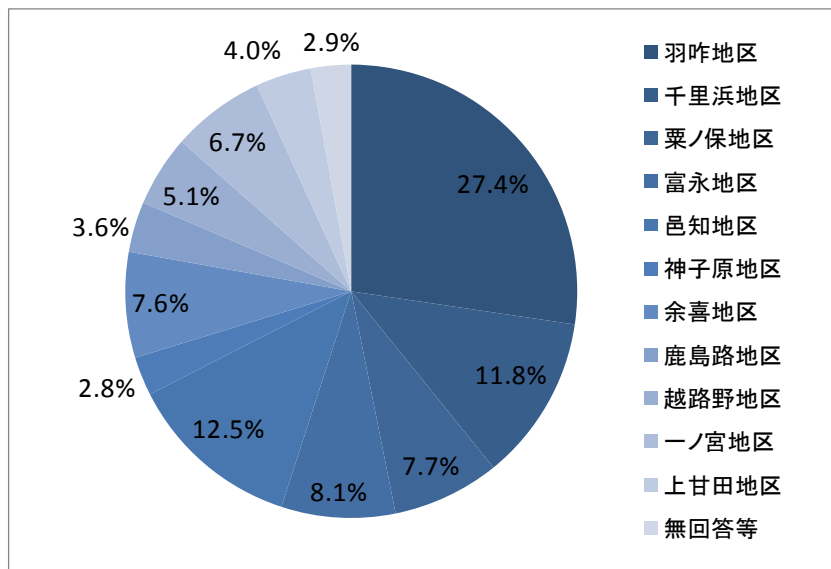
問21. 年齢

- 回答者の世代は「60歳以上」が最も多く、続いて「50～59歳」、「30～39歳」の順に多くなっています。



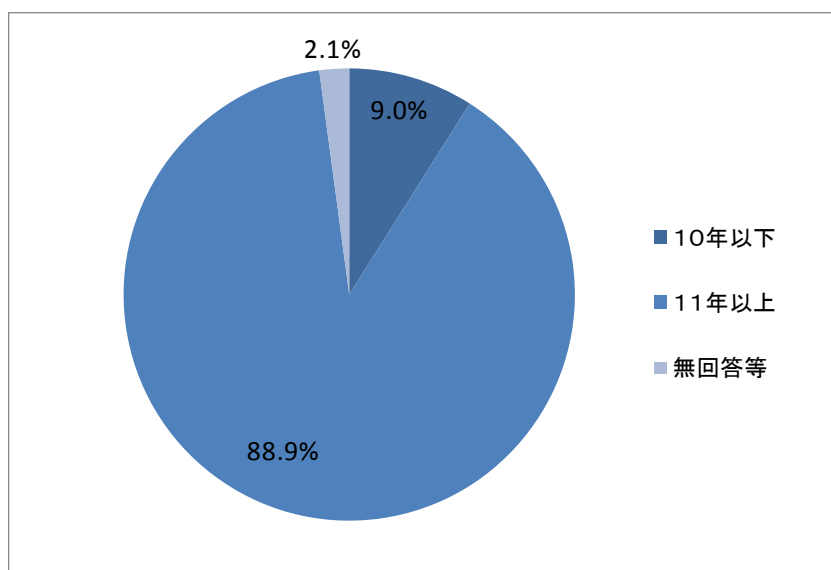
問 22. 居住地区

- 「羽咋地区」が最も多く、次いで「邑知地区」、「千里浜地区」の順に多くなっています。



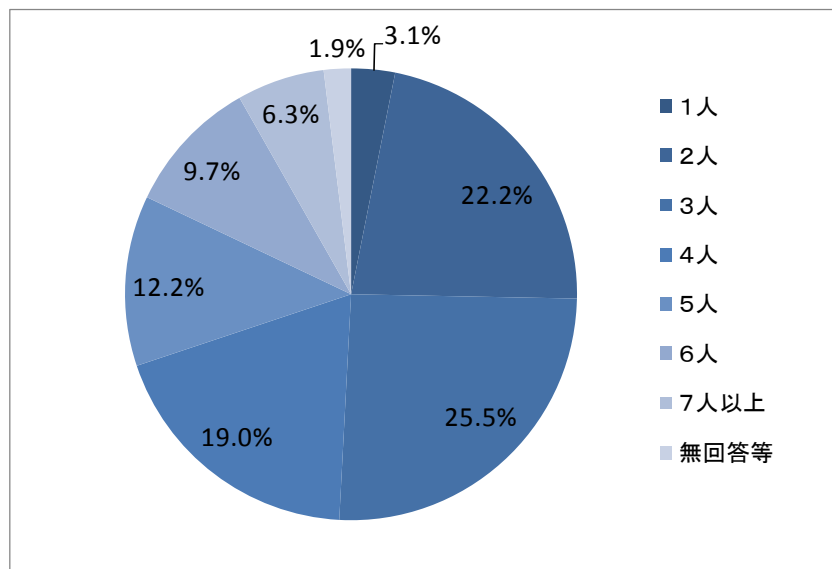
問 23. 居住歴

- ほとんどの回答者が「11年以上」と回答しています。



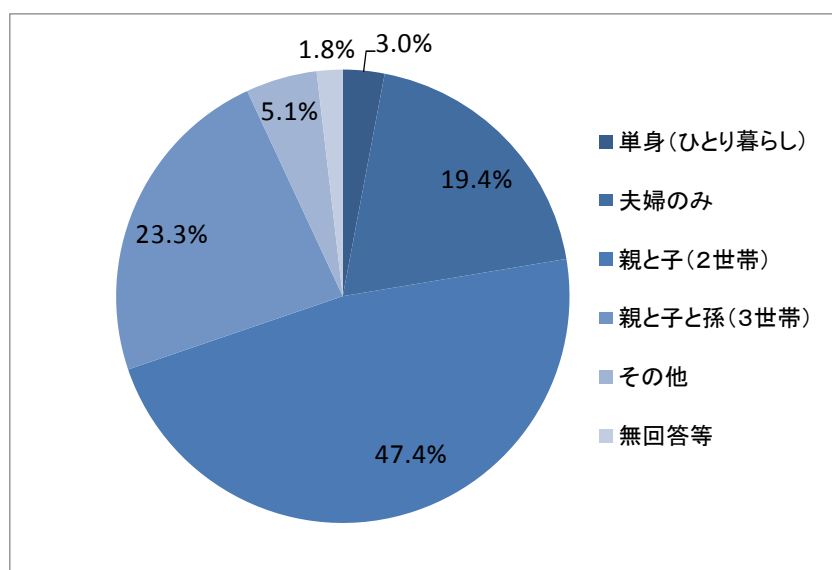
問 24. 同居人数

- 最も多かった回答は「3人」で、3人以下と回答した人は全体の半数以上を占めています。



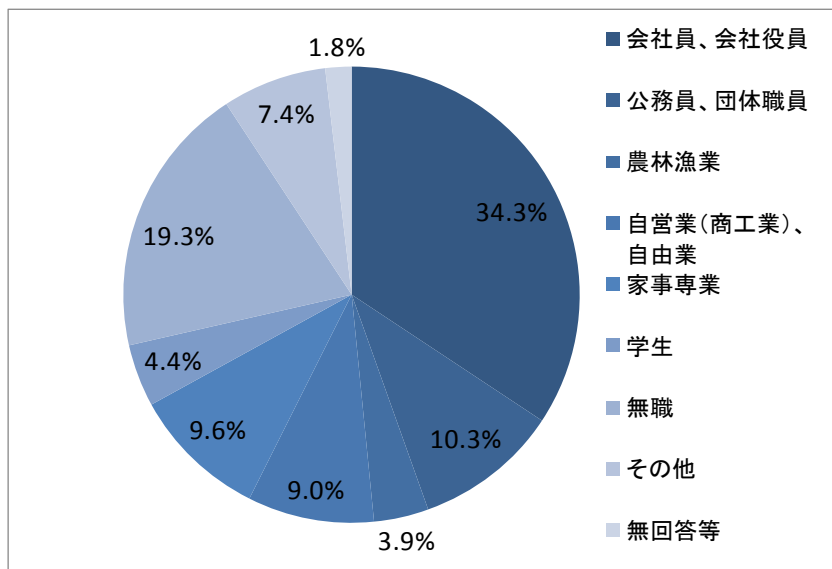
問 25. 家族構成

- 「親と子（2世帯）」が約5割を占め、次いで「親と子と孫（3世帯）」、「夫婦のみ」が2割ずつとなっています。



問 26. 職業

● 回答者のうち約6割が就業者であるのに対し、約2割の方が無職になっています。



羽咋市まちづくりアンケート結果（抜粋）

調査対象：市内に居住する満18歳以上79歳以下の住民

調査対象者数：3,000人(住民基本台帳より無作為抽出)

調査方法：郵送による配布・回収

調査期間：平成21年9月30日～10月31日

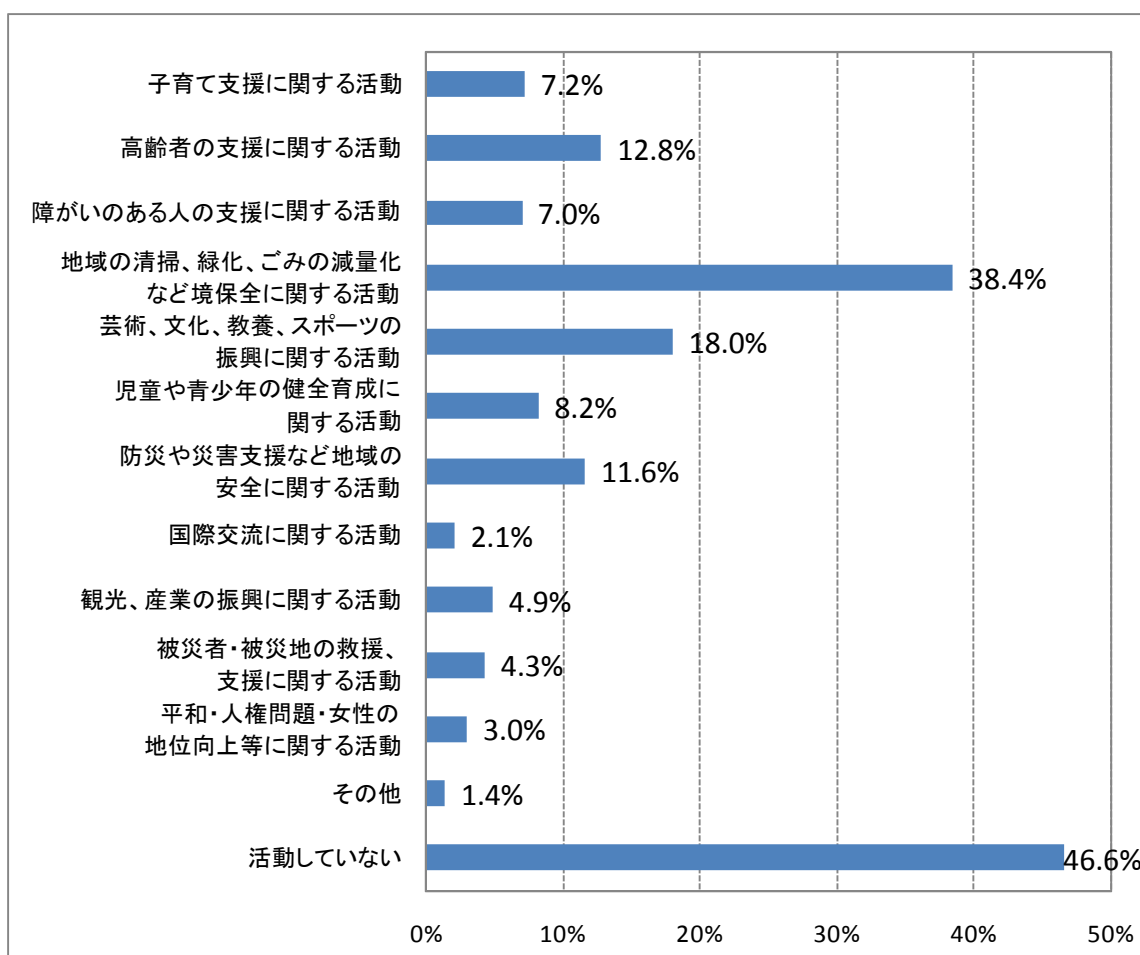
回収率：54.2%(1,625/3,000)

有効回収率：53.1%(1,594/3,000)

【市民活動について】

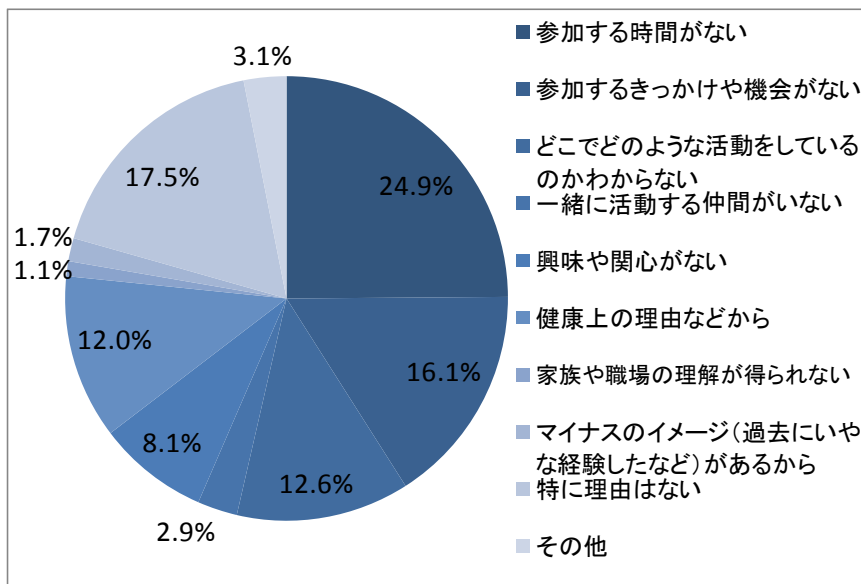
問 10. 現在どのような市民活動を行っていますか(複数回答)

- 最も多く行われている市民活動は、「地域の清掃、緑化、ごみの減量化など環境保全に関する活動」となっています。



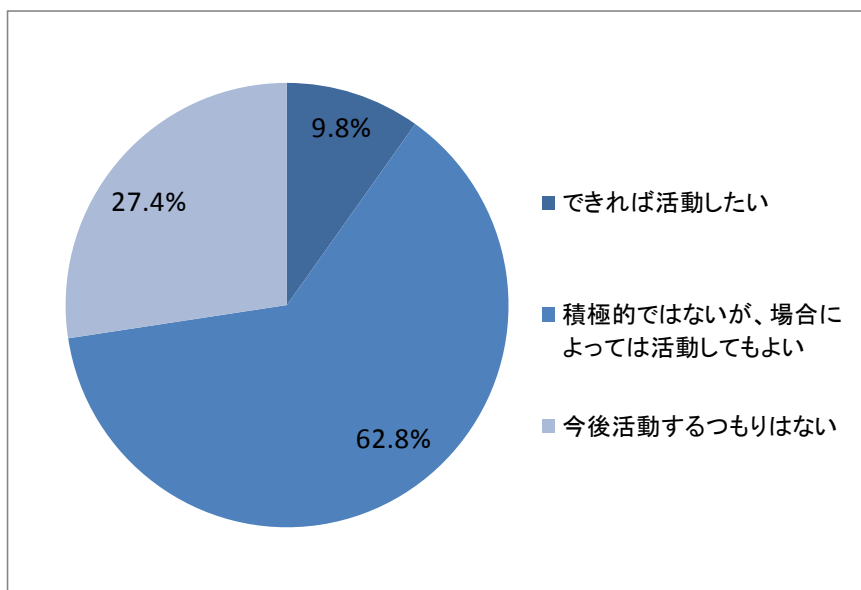
問 11. 市民活動に参加しない理由は何ですか

- 「参加する時間がない」という回答が最も多く、次いで「参加するきっかけや機会がない」といった意見が多くなっています。



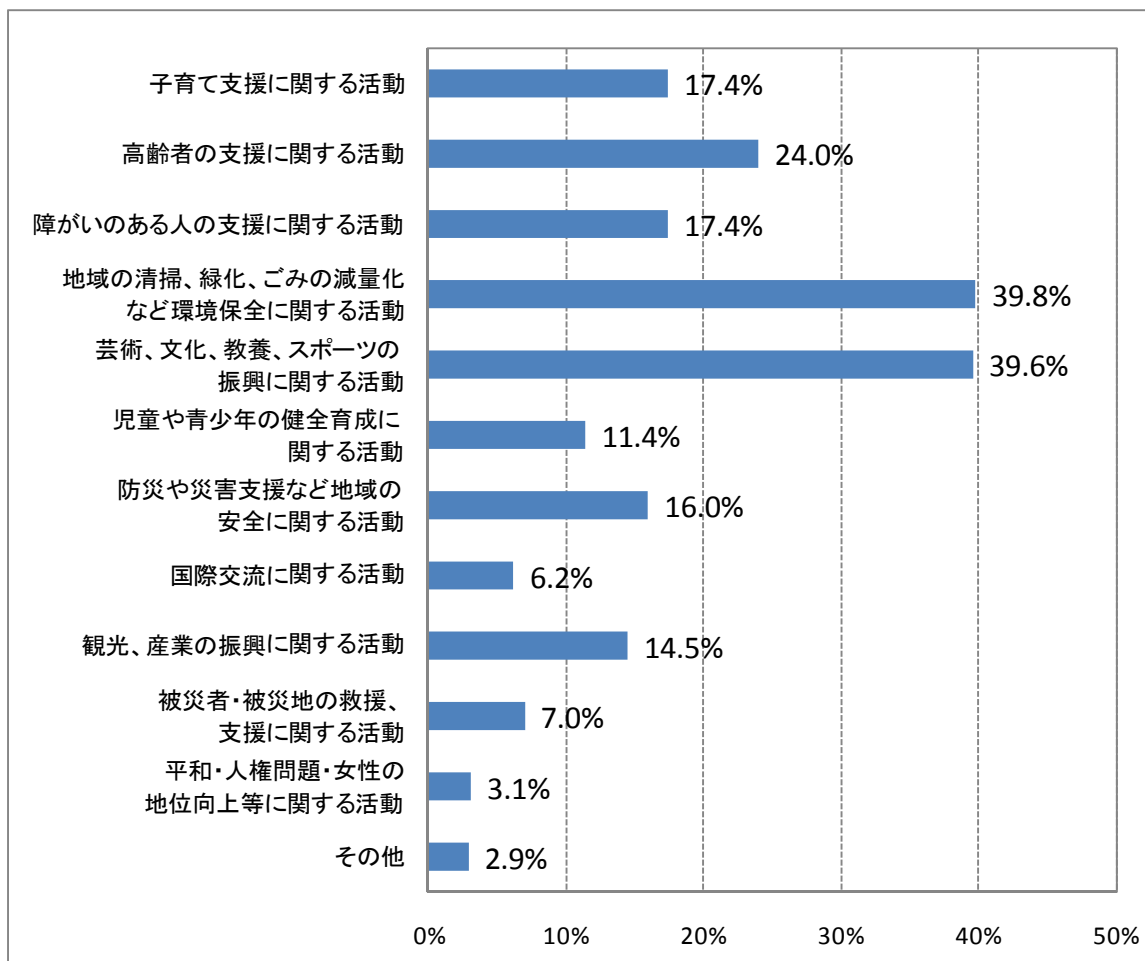
問 12. 今後市民活動に参加したいですか

- 「できれば活動したい」、「積極的ではないが、場合によっては活動してもよい」を合わせると、7割以上の回答者が、今後市民活動に参加してもよいと回答しています。



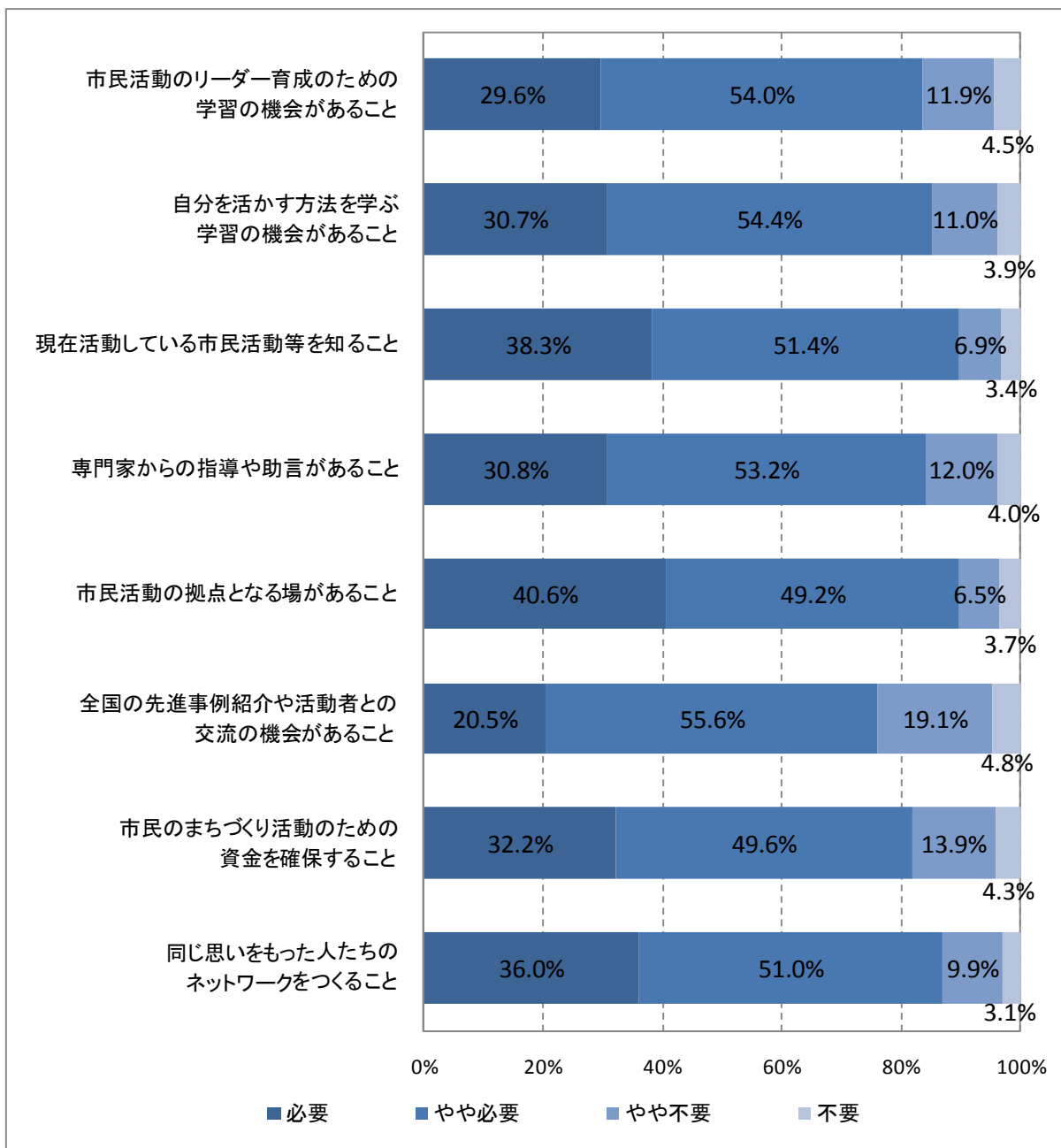
問 13. 参加してみたい市民活動はどのようなものですか（複数回答）

- 「地域の清掃、緑化、ごみの減量化など環境保全に関する活動」、「芸術、文化、教養、スポーツの振興に関する活動」という回答が特に多くなっています。



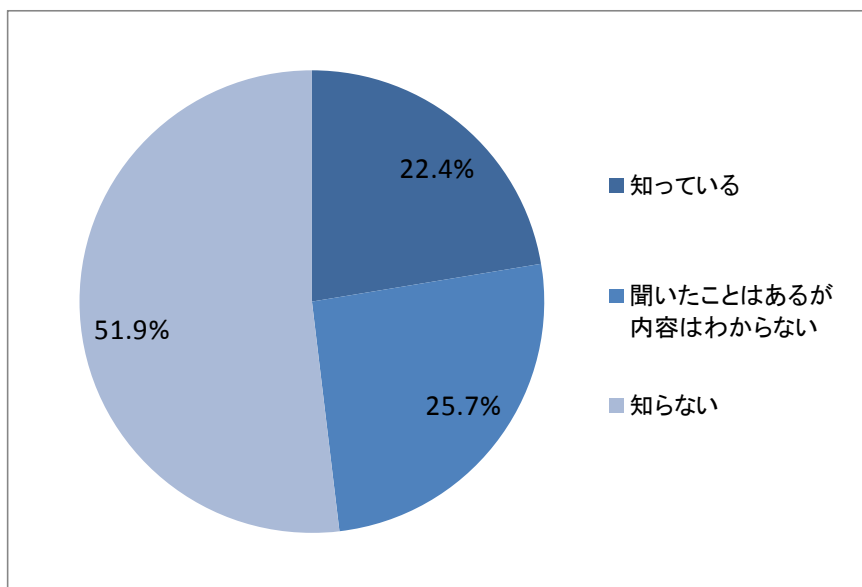
問 14. 市民活動を盛んにするためになにが必要だと考えますか

- ほとんどの項目で、「必要」と「やや必要」を合わせると8割以上の回答者が必要と回答しています。
- 「必要」が最も多い回答は、「市民活動の拠点となる場があること」で、次いで「現在活動している市民活動等を知ること」となっています。

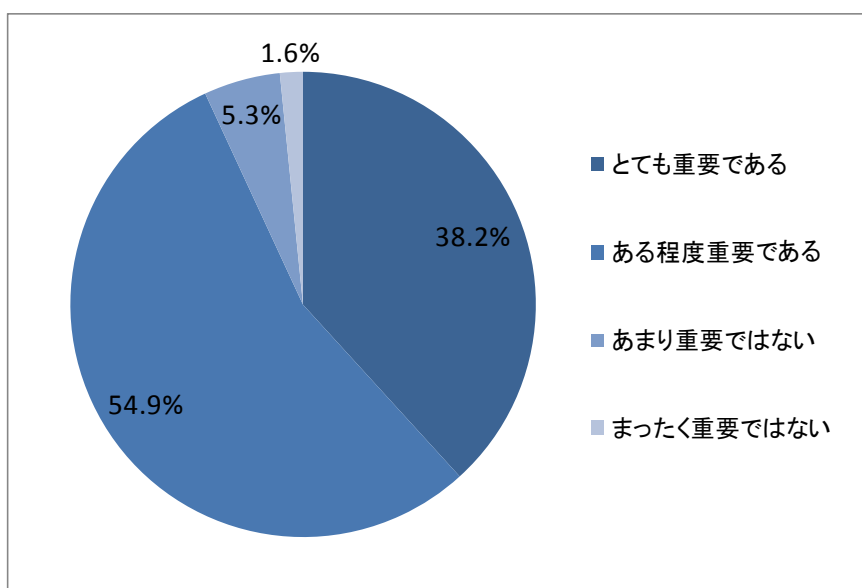


問 15. 「協働」という言葉をご存知ですか

- 「知っている」と答えた回答者は約2割で、「聞いたことがあるが内容はわからない」や「知らない」と回答した回答者が合わせて約8割となっています。

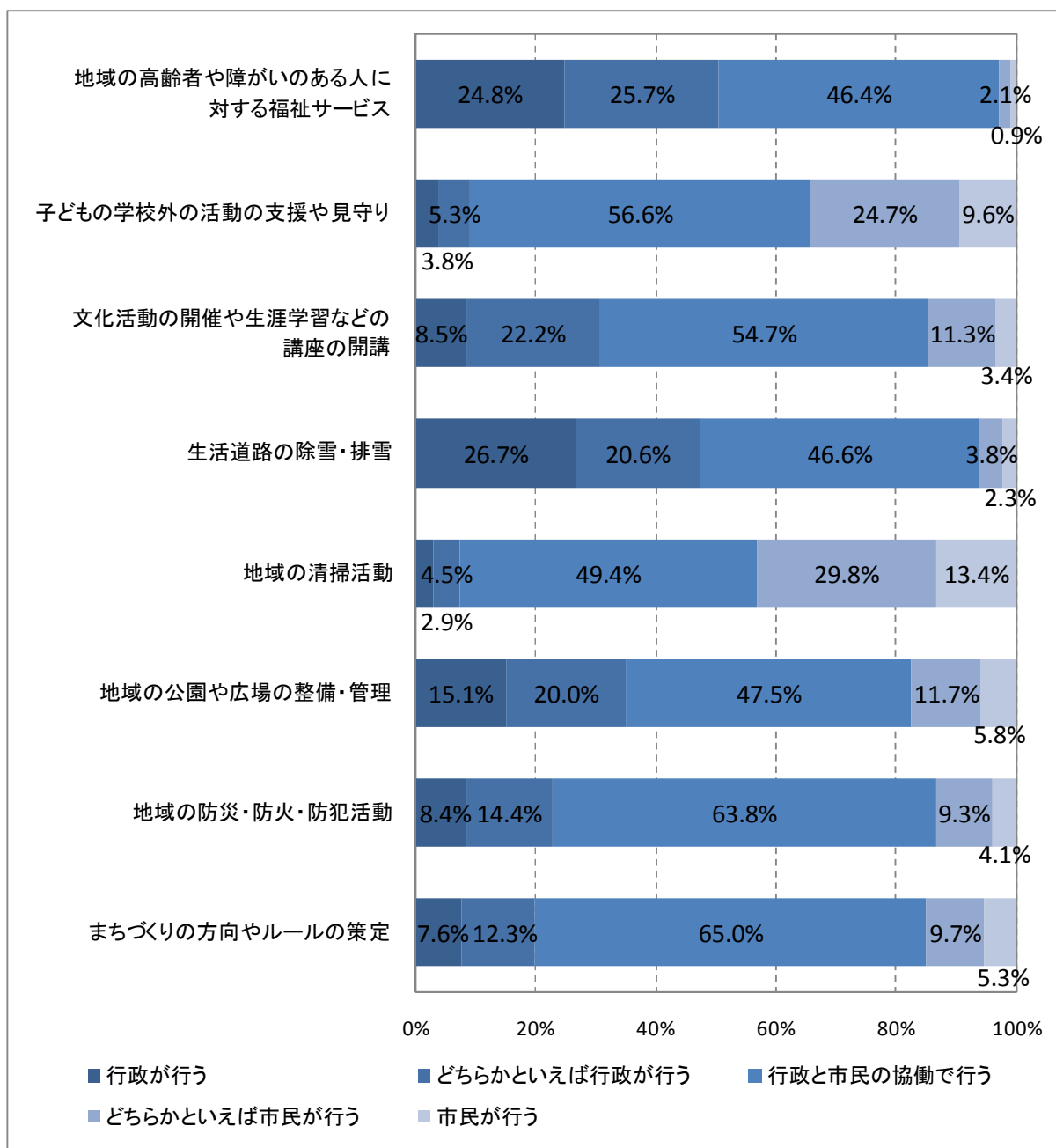
**問 16. 今後市民と行政の協働は重要だと思いますか**

- 「とても重要である」と「ある程度重要である」を合わせて9割以上の回答者が、市民と行政の協働が重要であると回答しています。



問 17. 市民と行政のどちらが責任を持つことが望ましいですか

- 全項目で「行政と市民の協働で行う」が回答の約 5 割を占めています。特に、「まちづくりの方向やルールの方策」で「行政と市民の協働で行う」を求める回答が多くなっています。
- 「地域の高齢者や障がいのある人に対する福祉サービス」と「生活道路の除雪・排雪」では、「行政が行う」という回答が多くなっています。
- 「地域の清掃活動」、「子どもの学校外の活動の支援や見送り」では、「市民が行う」という回答が多くなっています。



問 18. 協働で行うまちづくりのために必要なことは何ですか

●すべての項目において、必要という回答が多くなっています。特に「行政による協働の取組についての情報提供」について、「必要である」という回答が多くなっています。

